患者の気持ちに着目することが
選ばれる薬局、薬剤師に不可欠

服薬ケア研究会が都内でセミナー

講演する服薬ケア研究会の岡村氏

服薬ケアを研究・実践することを通じて、医療の中での薬剤師のあるべき姿を追求しようという全国の有志で組織する服薬ケア研究会（会頭岡村祐聡氏）は、ユヤマとの共催により3日に都内で「かかりつけ薬剤師セミナー」を開催した。特別講演では研究会を主宰する岡村会頭が「選ばれる薬局は、ここが違う！」と題し、実際の調剤薬局の現場エピソードを交えて薬局運営のポイントを解説。岡村氏は「選ばれる薬局、信頼される薬剤師になる第一歩は、患者を知り、医師を知ること。今後の薬局経営は人間性の部分が非常に重要な要素となってくる」と強調した。

薬局 Now

服薬ケア研究会は、真の意味での患者中心の医療をモットーに、薬剤師と医療の関わりについて考え、実践している非営利の研究団体。開局を含めた全国約200人の薬剤師が集まり、会員専用のメーリングリストで意見交換しているほか、服薬ケア普及のための勉強会等も各地で開催している。今回の講演で岡村氏が挙げたのが、患者、医師、そして自らを"知る"こと。

岡村氏は、服薬ケア研究会の講演、セミナー等を通じて「薬剤師としての明確なアイデンティティが確立されていない人が多いようだ。確立されていないと目の前の患者への服薬指導に影響してくる。例えば自分は（薬局は）どういうことを患者にしていくのか、医療理念のようなものを薬局内に掲げるのも一つの手段。そして患者の奥にある本当の気持ちに気づく努力をしていく、患者の気持ちに着目することが服薬ケア研究会の基本的な考え方である」とした。

また「私が考える薬剤師の医療とは、まず薬物治療の専門家であるということ。患者が安心して、安全に薬物治療を継続することに薬剤師は責任を負うべきである。そして一番最初に健康について相談できる身近な専門家として、プライマリケアの担い手であるということ。このほか、医師とは立場が違う専門家の意見として、セカンドオピニオンの提供者であること」を挙げた。

このほか服薬ケアの基本技法について、いくつか事例を紹介した。例えば「患者の質問にそのまま答えてはいけない。患者は何かを訴えたい時に、質問という形をとって薬剤師に対し自分の気持ちを訴えようとすることが多い。患者が聞いてきたことに対して『どうしてそう思われるのですか？』と聞き直して、初めて患者は本当に聞きたいことを言ってくれる」など、人間の行動を理解するための技法も重要になってくることを指摘した。

あきらめず、粘り強く
医師の信頼得る薬剤師に

参加者の関心が高かったのが、医師とのコミュニケーションについて。岡村氏は医師から嫌がられる薬剤師の要素として、①医師の間違いをあげつらうような問い合わせをする②責任逃れ（医師に責任を押しつける）のためだけの問い合わせをする③能書を杓子定規に読んだだけの問い合わせをする④患者についての大切なことを伝えてくれない（あるいは判断できない）⑤ミニドクターになって医師の領域に首を突っ込んでくる――を挙げた。

その上で、医師から信頼される薬剤師になるためには、これらの逆をやることだとした。「可能ならばできる限り顔を出し、意思の疎通を図り、直接指導を願う。よく勉強し、常に正しい判断をする。患者のためというコンセプトをしっかりと持つ。筋の通らない態度は、かえって信頼を失う。分かってもらいたいことは粘り強く対応し、患者を味方につける。特に強調したいのは、医薬分業は医師を監視するためのものではなく、医師をサポートするためのものと考えてもらいたいということ。医師が理解してくれないと嘆く前に、医師にとって頼りになる、ありがたい存在となると思ってもらう、医師が必要としている情報を的確なタイミングと内容で提供する。医師とのパートナーシップを築くためには、あきらめず、とにかく粘り強く対応すること」とした。

服薬ケア研究会の事務局は、つくば市上ノ室579の1、ISビル2階A号、電話・FAXは029・857・9038（ホームページはhttp://www.fukuyaku.net）

高機能なウイルスカットマスクを調剤薬局で販売

エフティ資生堂

資生堂グループで、トイレタリー・衛生用品製造販売のエフティ資生堂（東京港区）は、空気中のウイルスを捕捉する高機能なマスク「ナノブロックウイルスカットマスク」を、メディセオ・パルタックホールディングスを総代理店とするグループ卸9社を通じて調剤薬局を対象に販売している。

「ナノ
カット
体反応
ダニの
に対し
に結合
フィル
イルス
バイオ
めた4
コリも
不織布
（1日1
ーサイ
価格は
円。

衣類用柔軟仕上げ剤ラグジュランス発売
—UYEKI—

UYEKIは、このほど衣類用柔軟仕上げ剤「ラグジュランス」（写真）ほか3品目を新発売した。

ラグジュランスは、衣類を適度なやわらかさに仕上げると同時に洗濯物を干すトフロー
る。特に
香りが
た、コン
30Lの洗
でよく、
の防止に
そのほか
り用撥
ム」も新
て拭き前
バリアで
し、防汚
汚れを付
の発生が
くる画期
また、カ
ザインの
「庫内の
売。31
イプで、
ちする。
ゴの香り

ペパーミントエキス含有食品

有用であることが示唆された。

同社では、「安全・適正

〈時事エッセイ〉

つれづれ今日記（53）

弁護士・作家　三輪亮寿（みわりょうじゅ）

お洒落の街、銀座の

◆銀座と言えば、夜はもちろん、昼間だってお洒落をして行くところだと思っていた。それが、どうしたのだろうか。早速、観察して真相を突きとめることにした。

◆車道の真ん中に、カリ。歩道に駐輪すると、幼児の手を引きさっさとデパートの中へ。

◆どう見ても、近くのスーパーかコンビニで買い物をするような感じなので、行く先はデパチカだと推理した。では、どこ

帰の流れから生まれた新しい銀座像について考えてみた。

◆酔客と蝶々さんたちが帰った後の夜の銀座は、ゴーストタウンだった。昼間も、お洒落といえばそれまでだが、その分よそよそしさは否定できなかった。そこに家族団欒の温もりと子供の嬌